

=====

7. <水球陣>関東学生リーグ第7戦

H27.6.6 対東工大 @専修大学生田プール

東大 5 5 4 6 計 20

東工大 0 3 2 0 計 5

得点者：浪間(6)、池亀(3)、石田(3)、梶原(4)、山田(3)、川島(1)

先週の試合で国武に競り勝った東大。今日の試合に勝って、2位で順位決定トーナメントに進みたいところだ。

第1ピリオド

東工大のボールから試合が始まる。はじめこそ点が入らないものの、山田の5mシュートを皮切りにカットからカウンターという攻撃が続く。2度の退水ディフェンスを除けば、ほぼ一方的な展開で、5-0でこのピリオドを終える。

第2ピリオド

敵ボールから始まって最初のセットで、いきなり2度ミドルシュートを打たれるも、ここは正田好セーブでしのぐ。しかし東工大もエースの11番を軸に、徐々に反撃を開始する。一進一退の点の取り合いが続くも、最後は東大が3連続得点し、10-3とする。

第3ピリオド

3ピリオドに入っても東大の攻勢は変わらない。相手の11番の個人技で2点を失うも、石田、梶原がそれぞれ2連続得点を決め、14-5とする。メンバー交代などを行うも追加点は挙げられなかった。

第4ピリオド

4ピリオド目は一方的な展開。5mシュートに退水オフense、フローティングにカウンターと多彩な攻撃で相手を圧倒。川島の公式戦初得点などもあり、このピリオドで6連続得点し、見事コールド勝ちを収めた。

学生リーグ総当たりの最終戦をコールド勝ちで終わることができ非常に良かった。翌日に控える国武との試合に向け、反省するところはしっかり反省し、明日の試合に勝ってインカレ出場を決めたい。

最後になりましたが、応援に来てくださった林さん、岩村さん、監督として指揮を執ってくださった桐生さん、お忙しい中ありがとうございました。

(文責 岡良輔)

---